

## 2021年度事業活動報告(2021年4月1日~2022年3月31日)

2016年11月に設立以降、日本ファンドレイジング協会及び全国コミュニティ財団協会を共同事務局とし、(1)情報発信事業、(2)相談窓口事業、(3)人材育成事業、(4)普及啓発事業を実施している。2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大への対策対応2年目となり、活動もその多くがオンラインを通しての実施を余儀なくされた1年となった。

遺贈寄付への社会的な関心も以前と比較をすると高くなり、だからこそ、遺贈寄付に携わるものが倫理観高く取り組んでいく姿勢が大切であるとし、協会では「健全な遺贈寄付の普及」を活動のテーマとし、以下の3つの柱を基に事業を実施した。

- 1 普及啓発のための活動
- 2 人材育成
- 3 会員事業の強化

### ■普及啓発のための活動

#### ➤ 「遺贈寄付の倫理に関するガイドライン」の発表と非営利団体での援用・整備の呼びかけ

9月に開催した遺贈寄付ウィーク2021のタイミングに併せて「遺贈寄付の倫理に関するガイドライン」の発表を行った。

ガイドラインの作成にあたっては協会理事ならび外部の有識者にガイドライン検討委員として参画いただいた。協会の加盟団体、アドバンスレガシーパートナー、レガシーパートナー、登録土業の皆様に対するアンケート調査、第10回遺贈寄付サロン(2021年6月25日開催)参加の皆様からのご意見、フィードバックを加味して、数回の検討委員会を経て、2021年9月13日に協会HP上にて、また同年9月14日の遺贈寄付ウィークのイベントにて発表を行った。

全国レガシーギフト協会 HP

[「遺贈寄付の倫理に関するガイドライン」の発表](#)

発表と共に、遺贈寄付に取り組む非営利団体は、当協会に届け出ることによって、このガイドラインを自団体における遺贈寄付の倫理に関する内部規定として活用することができるものとし、2022年3月31日までに10団体が届け出を完了している。

#### ➤ 2回目となる「遺贈寄付ウィーク2021」を倫理をテーマに実施

2020年度から開始した、遺贈寄付の啓発キャンペーンとなる「遺贈寄付ウィーク」を2021年度も開催した。

- 実施期間:2021年9月11日(土)~17日(金)
- 主催:全国レガシーギフト協会
- 協賛団体:66団体・個人
  - 企業:スペシャルスポンサー(1)、特別協賛(3)、協賛(9) 合計13社
  - 非営利組織:特別協賛(会員)(24)、特別協賛(非会員)(3)、協賛(会員)(7)、協賛(非会員)(3) 合計37団体
  - 専門家・団体: 合計6
  - 個人協賛: 合計10
- 主催者実施イベント
  - Facebook&YouTube ライブ
    - ◇ モーニング・ライブセッション(9月11日~17日)
    - ◇ 遺贈寄付ディライブ(9月13日)合計13回実施
  - 特別イベント「遺贈寄付の更なる広がりのために - 倫理ガイドラインと調査から得る実践への示唆」
    - ◇ 開始日時:2021年9月14日(水)15:00-17:00
    - ◇ 開催形式:オンライン形式

- ◇ 参加者:54 名
- ◇ 登壇者:樽本哲氏、高橋 弘氏、相澤順也氏、三島理恵氏、受遺団体(2 団体)、
- ◇ 満足度評価: 4.4
- 特別終活セミナー
  - ◇ 開始日時:2021 年 9 月 17 日(金)10:00-12:00, 15:00-17:00(同一構成により 2 回開催)
    - 前半:遺贈寄付に関する講演(星野哲氏、小谷享一氏)
    - 受遺団体からの活動プレゼンテーション
    - 後半:受遺団体ごとに分かれての説明会
  - ◇ 開催形式:オンライン形式
  - ◇ 参加者数:のべ 100 名
  - ◇ 満足度評価: 3.8
- キャンペーンウェブサイト上での活動
  - ◇ 関連イベントの告知
  - ◇ 協賛団体への資料請求受付
  - ◇ 開設期間: 2021 年 8 月 23 日~9 月 17 日
  - ◇ 遺贈寄付ウィーク期間中総セッション数: 3,167
- 2021 年度の特徴
  - ◇ 前年度決算で経常収入が 1000 万円未満の団体に対しては協賛応援プランを適用
  - ◇ 2回目の開催となったためか、9月の遺贈寄付ウィークに併せて、自団体の HP やパンフレットの改訂を行ってくださる団体も複数あった。
  - ◇ International Legacy Giving Day にちなみ、海外から、特別イベントには Mr. Rob Cope (Remember a Charity)がライブ出演、遺贈寄付ディライブには Mr. Theo Hesen(LEGA Vision)がビデオ出演にて参加をしてくれ、海外連携を実現することができた。
  - ◇ 全国コミュニティ財団協会が、全国のコミュニティ団体をつないでの同時中継セミナーを実施し、全国規模での遺贈寄付の普及啓発の第一歩となった。
  - ◇ 複数の受遺団体が協働で開催するイベントが行われた。
- 今後の課題
  - ◇ 協賛団体からも強く求められる、一般の方や将来の遺贈寄付者へのアプローチ(受遺団体間だけの集まりという雰囲気からの脱却)

➤ 『遺贈寄付ハンドブック - 改訂第 2 版』の発行

前回出版(2018 年 8 月 31 日)以降の法改訂、新しい取り組み、ガイドライン等を追記し、2022 年 3 月 1 日に発行。  
発行元となる日本ファンドレイジング協会 HP 上での販売のほか Amazon でも取り扱う。



➤ 月に 1 回「遺贈寄付ライブを開催し、遺贈寄付の理解促進へ

毎月第4水曜日のお昼の時間帯(12:15-12:45)に土業の方、または受遺団体の方々に登場いただき、遺贈寄付の様々なトピックスについて語っていただくトークセッションライブ (Facebook と YouTube)を実施。ライブはアーカイブされるので、その後のコンテンツとしても再利用可能としている。2021 年 4 月から 2022 年 3 月までの 11 回の累計再生回数は 475 回である(9 月は遺贈寄付ウィーク開催のため実施せず)。

## 遺贈寄付ライブ開催一覧

開催日時	テーマ	登場
4月29日	遺贈寄付への取り組み	荻野一信氏(認定 NPO 法人国境なき医師団日本) 御手洗薫氏(認定 NPO 法人フローレンス)
5月26日	遺贈寄付への取り組み	榛田敦行氏(認定 NPO 法人ピースウィンズ・ジャパン) 高橋 潤氏(公益財団法人長野県みらい基金)
6月30日	遺贈寄付への取り組み	中坪央暁氏(特定非営利活動法人難民を助ける会) 川野辺雪菜氏(一般社団法人全日本ピアノ指導者協会)
7月28日	遺贈寄付ウィーク 2021 への期待	佐々木秀仁氏(公益財団法人日本財団遺贈寄付サポートセンター) 岸田浩美氏(公益財団協会 日本対がん協会)
8月30日	団体の活動と遺贈寄付ストーリー	松本真理子氏(認定 NPO 法人 カタリバ) 三島理恵氏(認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ)
10月27日	「遺贈寄付の倫理に関するガイドライン」について	飯島史絵氏(特定非営利活動法人 グッドネーバズ・ジャパン) 浦邊智紀氏(一般財団法人 非営利組織評価センター)
11月24日	遺贈寄付って何?	木下園子氏(日本財団遺贈寄付サポートセンター)
12月22日	【少額遺贈寄付】が当たり前になる社会	金子由美子氏(公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン) 三浦美樹氏(司法書士、全国レガシーギフト協会 理事)
1月26日	相続税の基本～計算方法を知っていますか～	脇坂誠也氏(税理士、全国レガシーギフト協会 理事)
2月23日	遺言書の選択肢と手順	樽本 哲氏(弁護士、全国レガシーギフト協会 共同代表)
3月24日	残念な遺言書	齋藤弘道氏(全国レガシーギフト協会 理事、遺贈寄付推進機構)



## ■人材育成事業

### ➤ オンライン研修

オンライン研修では新しいコンテンツの追加はなかったものの、年間 50 人の受講があった。

➤ 遺贈寄付サロンを通して会員間のコミュニケーションも

遺贈寄付担当者や団体同士のネットワークの構築を促し、講師にテーマに沿った話題・事例提供をリードいただきながら、遺贈寄付のノウハウの構築を促進し、寄付者の方々の思いの実現にむけて行動できる受遺団体を増やす目的で、通年で「遺贈寄付サロン」を開催。2021年度も全回オンライン形式での開始となったが、毎回満足度の高い評価を参加者から得ることが出来、併せて遺贈寄付に関わる法人間のコミュニティ化が進んだ。

<遺贈寄付サロン開催概要>

日時	テーマ	登壇者
第10回 6月25日(金) 参加者:32名	遺贈寄付における倫理基準を考える ～全国レガシーギフト協会の倫理ガイドライン案を題材に	樽本 哲氏(弁護士、全国レガシーギフト協会理事共同代表)
第11回 9月24日(金) 参加者:32名	大学の遺贈寄付の現状と課題～大学の遺贈寄付戦略に学ぶ	大原律子氏(国立大学法人大阪大学ファンドレイザー) 松田直之氏(国立大学法人広島大学基金室主査)
第12回 12月17日(金) 参加者:30名	遺贈寄付の意識調査の解説 ～分析者による深掘り解説～	三浦美樹氏(一般社団法人日本継承寄付協会) 三島理恵氏(認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ) 相澤順也氏(株式会社ファンドレックス)
第13回 3月18日(金) 参加者:47名	みなし譲渡課税の徹底解説～不動産や有価証券の遺贈に備えて～	脇坂誠也氏(NPO 会計税務専門家ネットワーク 代表理事全国レガシーギフト協会理事) 鎌倉淳爾氏(一般財団法人 鎌倉フェローシップ 代表理事)

■ 会員事業の強化

➤ 加盟団体(正会員)

「いぞう寄付の窓口」機能を担う加盟団体は、新規加盟しやすいように、昨年度、定款及び会費の変更を行った。4団体が新に加わり、現在、18団体が窓口業務を担ってくださっている。これで15都道府県での窓口が開設されたことになる。

新規加入団体

- 公益財団法人 南砺幸せ未来基金(富山県)
- 公益財団法人 あいちコミュニティ財団(愛知県)
- 一般財団法人 泉北のまちと暮らしを考える財団(大阪府)
- 一般財団法人 未来基金ながさき(長崎県)

➤ レガシーパートナー・サポーター制度の継続

遺贈寄付がより進む社会を作るために、寄付者の想いの達成や価値づくりに貢献する団体が連帯し、知見を集積し、より発信力のあるコミュニティを作る目的で、レガシーパートナー・サポーター制度の運用を2019年度から開始。3年目となる2021年度も遺贈寄付ウィークの後押しもあり、レガシーパートナー数が増加した。

<2021年3月末日時点での会員数>(前年度からの増減)

- ・ アドバンスレガシーパートナー(サービス提供者):1団体
- ・ アドバンスレガシーパートナー(受遺団体):8団体(+3)

- ・ レガシーパートナー:41 団体(+16)
- ・ レガシーサポーター:10名(+1)

➤ **メディア掲載**

- ・ 協会関連
  - ◇ 2021/7/29 北海道新聞紙面、電子版「終活ブームで広がる遺贈寄付 専門家らが相談窓口 各団体は受け入れ拡充」
  - ◇ 2021/10/23 日本経済新聞(全国版、電子版)「マネーのまなび」の中、「ネクストステージ 社会貢献、広がる裾野」
  - ◇ 2021/10/31 読売新聞(全国版、電子版)「遺産の寄付 安心して託せる態勢が前提だ」(取材協力)
  - ◇ 2021/11/04 中国新聞(紙面、電子版)「遺贈寄付で社会に恩返し」(取材協力)
  - ◇ 2021/11/21 朝日新聞(全国版、電子版)「財産で、最後の社会貢献 遺贈寄付、家族の理解大事に」(取材協力)
  - ◇ 2021/11/22 週刊朝日(12/3号)「遺贈寄付で人生最後の社会貢献」

■ **相談窓口事業**

➤ **相談件数**

2021年度の「いぞう寄付の窓口」に寄せられた相談件数は以下の通りである。

相談窓口	相談件数(対前年度)
北海道NPOファンド	4(+1)
地域創造基金さなぶり	0(-5)
とちぎボランティアネットワーク・とちぎコミュニティ基金	0
ちばのWA地域づくり基金	0
南砺幸せ未来基金	0
長野県みらい基金	3(-2)
あいちコミュニティ財団	0
京都地域創造基金	9(+2)
泉北のまちと暮らしを考える財団	2
ひょうごコミュニティ財団	11(+7)
佐賀未来創造基金	5(+3)
未来基金ながさき	0
くまもとSDGs推進財団	0
みらいファンド沖縄	1
パブリックリソース財団	0
日本財団「遺贈寄付サポートセンター」	2,675(+785)
公益法人協会	13(+8)
日本ファンドレイジング協会	5
全国レガシーギフト協会	16
合計	2,744(+793)

※過去の件数

2017年度 1,914件  
2018年度 1,503件

2019年度 1,920件  
2020年度 1,951件

■ **事務局運営**

- 全国コミュニティ財団協会と日本ファンドレイジング協会での共同事務局体制を継続。
- 事務局のスタッフが、海外が主催する”AFP ICON2021”(2021年6月28日～30日、米国 Association of Fundraising Professions 主催、オンライン)、“Legacy and In Memory Fundraising Conference”(2021年12月2日、イギリス・Remember a Charity 主催、オンライン)のイベントに参加をした。内容について、2021年9月7日に AFP ICON 参加者有志による勉強会、また 2022年2月の「ファンドレイジング・日本」でのオンデマンド・セッションにてフィードバックを行った。